

がん研ボランティア 活動報告書（2014）



がん研有明病院
CANCER INSTITUTE HOSPITAL

（ボランティア支援室）

平成 26 年度 ボランティア活動 年間報告書

がん研有明病院のボランティア活動にご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございます。

活動に参加してくださったボランティアの皆さんのおかげで平成 26 年度も多くの活動を実施することができました。活動を通して、病院内をさりげなくも優しい雰囲気包んでくださり、治療中のほんのひとときでも、患者さんやご家族に喜びや安らぎをお届けできていたのではないかと感じております。貴重な時間を割いて有明までお越し下さり、温かな気持ちで活動に臨んでいただきましたことに、心より感謝しております。

お力を貸していただきましたボランティア活動の内容を携わっていただいたボランティアの皆さんと共有して、更に良い活動に繋げていくことができるように、ここに「平成 26 年度ボランティア活動年間報告書」をお届けいたします。

2014 年はボランティア参加の活動要件に変更があったり、事務職の新入職員がボランティア支援室兼務となったりと、病院のボランティア活動の受け入れ体制も変化がありました。今年 3 月には病院が有明に移転してちょうど 10 年が経ち、ボランティアも活動開始から 10 周年の節目の年を迎えました。時代の流れと共に病院の体制も様変わりし、病院がボランティア活動で皆さんにお願いしたいことも徐々に変わって参りました。ボランティアの皆さんにはこの点をよくご理解いただき、がん専門病院でのボランティア活動であることを忘れずに、引き続き、お力を貸していただきたいと思います。ボランティアの皆さんと職員が一緒になって、がんと闘う患者さんやご家族に不安や緊張を少しでも和らいでいただけるよう、心の通う温かい病院になるように、より良い関係を築いていくことができれば…と考えております。今後とも宜しくお願いいたします。



2015 年 4 月

がん研有明病院 ボランティア支援室
ボランティアコーディネーター 柴田かおり

がん研有明病院 ボランティアの目指すもの



- ・入院、通院されている患者さんが院内で快適に過ごすことができるように支援します
- ・患者さんが安心して治療できる環境づくりの担い手となります
- ・患者さん、ご家族と病院や社会との間をつなぐ架け橋となります
- ・入院生活に季節の風をもたらしませす
- ・院内のサービスの向上と充実につながるよう陰ながらサポートします

がん研有明病院ボランティア運営委員会

がん研有明病院 ボランティアシンボルマーク



カニのハサミがボランティア(Volunteer)のVマークを象り、2つのカニのハサミは手と手を取り合い助け合いをイメージしたシンボルマーク

1. コンサート活動のご報告

コンサート活動ではホスピタルコンサート、BGM タイム、緩和ケア病棟ミニコンサートの3種類のコンサートを開催して、音楽を通じて患者さんやご家族に穏やかな時間をお過ごしいただきました。演奏はプロとして活躍されているアーティストの方、またはプロ活動に準ずる活動をされている方をお願いして、素敵な演奏を院内に届けていただきました。

演奏していただく方には、がん専門病院での演奏ボランティアであることをご理解いただき、ご自分のリサイタルとは異なり、演奏技術を披露する場ではなく、がんと闘う患者さんやご家族が穏やかなひとときを過ごしていただけるように、心温まる演奏をお願いしております。また、コンサート開催にあたっては謝礼や交通費は一切なし、全くのボランティアでご協力いただいております。

【ホスピタルコンサート】

- 開催日時：毎月第3木曜日
(17:00~17:40)
- 場 所：1階ホスピタルストリート
- 開催回数：12回
- 対 象：患者さん、ご家族



ホスピタルコンサートは、職員や患者さんからのご推薦やご紹介のほか、今年度は以前、出演された演奏者の方からのご希望も寄せられ、様々なジャンルの12組の演奏家の方にお越しいただきました。2回目以上の出演となられた演奏者の方が7組、お箏や中国の伝統楽器の二胡、ヴァイオリンとピアノの共演や男性ピアニストお二方によるピアノの連弾、ピエロのマンダリン演奏やパントマイムのショーなど初めての出演となられた演奏者の方は5組となりました。演奏者の方は、ホスピタルコンサートに合わせてどのような曲が好まれるか、病院での演奏にふさわしくない曲はないかと、プログラム構成を慎重に考えて準備をしてくださいました。珍しい楽器による演奏も多く、聴きごたえも見ごたえもあるコンサートとなり、毎回沢山の患者さんやご家族の笑顔を見ることができました。

また、2015年3月には有明移転10周年を迎えたのを記念して、ヴァイオリニストの千住真理子さんにお越しいただいてのホスピタルコンサートを開催いたしました。入院患者さんからは『千住さんのヴァイオリンを病院で聴くことができるとは夢にも思いませんでした』というお声や、患者さんのご家族からは『心にしみて癒されました』というご意見も寄せられ、感動的なコンサートとなりました。

コンサート開催にあたっては各部署の職員、ボランティアわかばのメンバーのサポートと共に、協力企業さんが大きな力を貸してくださいました。偶数月は帝都典礼、奇数月は平安祭典のスタッフの方がコンサート会場を素敵なお花で華やかに飾ってください、患者さんから出演されたアーティストの方へ贈呈している豪華な花束もご提供くださっています。このほか、会場設営や患者さんのお座席への誘導など、毎回陰ながら支えてくださっています。この場を借りて御礼をお伝えしたいと思います。

吉岡延隆 箏コンサート

[2014年4月18日開催]

【出演】吉岡 延隆さま（箏）



4月のホスピタルコンサートは、箏奏者の吉澤延隆さんをお迎えして開催しました。男性によるお箏のコンサートは初めてということもあり、会場に用意した座席もあつという間に埋まり、立ち見の方もいらしたほど大盛況でした。春らしいさわやかなお箏の音色に患者さんやご家族だけでなく職員も聴き入っていました。吉澤さんの優しさ溢れる温かいコンサートとなりました。素敵な演奏を届けてくださった吉澤さん、本当にありがとうございました！！

初夏のそよ風コンサート

[2014年5月15日開催]

【出演】刈谷美幸さま（ヴァイオリン）・長谷正一さま・杉本直登さま（ピアノ）



5月のコンサートは職員からの紹介で出演まで一年ほどお待ちいただきましたお三方をお迎えしました。ピアニストとしてご活躍の傍ら、後進の指導にあられる長谷さんによる曲の解説もわかりやすく、クラシックに詳しくない方でもヴァイオリンとピアノの演奏を楽しんで聴くことができました。また、男性ピアニストお二人による連弾は今までにない迫力があり、会場の皆さんの大きな拍手からもわかるように大喝采でした！初夏のそよ風を感じさせてくれるひとときとなりました。ご出演くださいました長谷さん、杉本さん、刈谷さん、本当にありがとうございました。

二胡&ピアノコンサート

[2014年6月19日開催]

【出演】酒井和嘉子さま（二胡）・大島春生さま（ピアノ）



今回初めての開催となりました二胡とピアノのコンサートには、沢山の患者さんご家族にお越しいただきました。二胡の生演奏が初めての方にもわかりやすいようにと、二胡奏者の酒井さんによる楽器の説明もあり、皆さん興味津々に耳を傾けていらっしゃいました。酒井さんの美しいチャイナドレス姿と心地よい二胡の音色と、優しく奏でる大島さんのピアノに、会場にいらした皆さんの心も華やかな気持ちになれたご様子でした。素敵な時間を届けてくださったお二人に心から感謝しております。ありがとうございました！！

いのちのしらべ

[2014年7月17日開催]

【出演】鈴木重子さま（ヴォーカル）・Wong Wing Tsan さま（ピアノ）



2007年より毎年お越しいただいている“いのちの響きをつむぐ歌手”ヴォーカリストの鈴木重子さんと“瞑想のピアニスト”ウォン・ウィンツァンさんをお迎えしてのコンサートは、今回も沢山の方が楽しみにお待ちくださっていました。40分の限られた時間の中で、「ゆりかご」や「ふるさと」の懐かしの歌だけでなく、最後に届けてくださった「たったひとつ」という歌では、とても力強く迫力のある歌声で、がんと闘う患者さんやご家族に病気や治療に向き合う勇気を与えてくださいました。毎年のご協力を心から感謝しております。

オンド・マルトノコンサート

[2014年8月21日開催]

【出演】大矢素子さま（オンド・マルトノ）・大矢恭子さま（ピアノ）



8月は大変珍しいフランスの電子楽器『オンド・マルトノ』のコンサートを開催いたしました。オンド・マルトノの演奏は初めて聴く、という方が多く、会場には沢山の患者さんやご家族にお越しいただきました。言葉では表せられない独特な綺麗な音色で、コンサートの最後には、皆さんと『浜辺の歌』を合唱し、会場が一体となっている光景には、スタッフも感動して目頭が熱くなりました。終了後は、演奏された大矢さんと楽器のまわりに多くの患者さんが興味深く集まってこられ、楽器について沢山の質問をされていらっしゃいました。素晴らしいコンサートをお届けできました。

ピエロと歌でスマイルコンサート

[2014年9月18日開催]

【出演】ピエロのロカさま（マンドリン）



9月のホスピタルコンサートは、ピエロのロカ様をお招きし、ピエロパフォーマンスとマンドリン演奏を披露していただきました。パントマムから始まり、その不思議な雰囲気会場が引き込まれていました。マジックもご披露くださり、それまでの雰囲気がうってかわって、会場の方々も巻き込んでの楽しい時間となりました。風船マジックにはお子様も参加していただき、会場に笑顔が広がりました。最後にマンドリンを演奏していただき、素敵な音色に皆様の心が和んだようでした。尚、今回のコンサートは、出演予定の出演者さんの体調不良によりプログラム内容が一部変更しての開催となりました。

ふれあい・結コンサート

[2014年10月21日開催]

【出演】太田美知彦さま（ヴォーカル&ピアノ）・百田忠正さま・斉藤ルミ子さま



10月のホスピタルコンサートは、2年ぶりにお越しいただいた太田美知彦さんによるピアノと歌のコンサート、『ふれあい・結コンサート』でした。当日はゲストとしてコーラスの百田忠正さんと、斉藤ルミ子さんにもお越しいただきました。太田さんご自身様がお母様のために書かれた曲では、会場にいらした患者さんも涙ぐまれるほどで、温かな歌声がホスピタルストリートに響いていました。後半から登場された斉藤さんは、ものまね王座決定戦で優勝された経験もおありで、美空ひばりさんの『川の流れるように』の歌声がとてもよく似ていて、患者さんはもちろん、スタッフも聞き入っていました。

白井麻友ヴァイオリンコンサート

[2014年11月20日開催]

【出演】白井麻友さま（ヴァイオリン）・石橋里奈さま（ピアノ）



11月は高嶋ちさ子12人のヴァイオリニストメンバーの1人として活動経験をお持ちの白井麻友さんと、ピアニストの石橋里奈さんをお迎えしてのホスピタルコンサートでした。ヴァイオリンの音色は心地よく、人気もあることから会場には沢山の患者さんがお集まりくださいました。クラシックから美空ひばりさんの名曲、そして大ヒット映画の『アナと雪の女王』まで様々なジャンルの演奏を楽しめるコンサートでした。白井さんのドレスも“アナ雪”に合わせてくださったようで、とても素敵でした！

溝口 肇クリスマスチェロコンサート

[2014年12月18日開催]

【出演】溝口 肇さま (チェロ)・轟 絵美さま (ピアノ)



2014年の最後のホスピタルコンサート、一年で最も賑やかとなるこのシーズンを病院でお過ごし
の患者さんのためにと、駆けつけてくださったのは、チェリストの溝口 肇さんとピアニストの轟
絵美さんです。テレビ朝日の長寿番組「世界の車窓から」でお馴染みの溝口さんは、今回で4回目
のご出演となりました。毎回、患者さんやご家族に大変ご好評のホスピタルコンサートですが、
クリスマスコンサートということもあり、200席ご用意したお席はあっという間に満席、ホスピタ
ルストリートは沢山の方にお集まりいただき、いつもに益して大盛況のコンサートとなりました。
素敵なチェロの演奏と優しい溝口さんのお話に入院中の患者さんにも感激されたご様子で、少し
でもクリスマスを味わっていただけたのではないかと思います。

新春わたぼうしコンサート

[2015年1月22日開催]

【出演】春風ひとみさま・前田清実さま・石田佳名子さま・柏木ナオミさま
河合篤子さま・木村晶子さま・境田桃子さま・玉置夏織さま
徳垣友子さま・日比野啓一さま・藤山すみれさま



有明移転 10周年を迎える 2015年の幕開きは、宝塚の元娘役スターの春風ひとみさんと数々の
ミュージカルや舞台でご活躍の俳優の皆さんをお迎えしての「わたぼうし」コンサートを開催しま
した。ピアノとヴァイオリンの演奏に合わせて、歌ありダンスあり、いつものコンサートとは一味
違ったショー形式のコンサートに患者さんも大喜び、手拍子もわき起こり、一体感に包まれた素敵
なコンサートでした。舞台がお好きな患者さんからこの日に合わせて外来の診察の予約を入れた！
というお話も伺うことができ、皆さんと一緒に温かい時間を過ごすことができました。
出演者の皆さん、ありがとうございました！！

『モウ〜春ととのいました!』

[2015年2月21日開催]

【出演】長尾篤子さま・長尾良子さま（ソプラノ）・長尾博子さま（ピアノ）



有明移転 10 周年記念コンサート第 2 弾は、2006 年より当院の演奏ボランティアとして BGM タイムや緩和ケア病棟でのミニコンサートで活動して頂いている長尾牧場のお三方をお迎えして、歌とピアノのコンサート『モウ〜春ととのいました!』を開催致しました。

ドイツ音楽、ロシア民謡、一度は耳にしたことのある歌謡曲だけでなく、小唄など聞いたことのない楽曲も数多く演奏頂きました。特に小唄では会場から笑いが起き、最後は早春賦を会場の皆さんと一緒に歌い、とても楽しい一時となりました。温かい演奏を届けてくださり、本当にありがとうございました。

千住真理子ヴァイオリンコンサート

[2015年3月30日開催]

【出演】千住真理子さま（ヴァイオリン）・山洞 智さま（ピアノ）



有明移転 10 周年記念を迎えた 2015 年 3 月のホスピタルコンサートは、ヴァイオリニストの千住真理子さんとピアニストの山洞 智さんをお迎えしました。千住さんにお越しいただくのは、2 年振り 3 回目、千住さんご自身も今年デビュー 40 周年を迎えられ、全国ツアー中のお忙しい中を、がんと闘う患者さんやご家族のためにと駆けつけてくださいました。

千住さんのご配慮でヴァイオリンの演奏で空気の振動を感じていただきたいと、マイクを通さずに生の演奏をより近くで聴いていただけるようにお座席も間近に配置させていただき、大勢の方に楽しんでいただきました。ヴァイオリンとピアノの力強くも温かい演奏に心打たれた方も多く、患者さんやご家族はもちろんのこと、病院スタッフにとっても感動的なコンサートとなりました。

【BGM タイム】

- 開催日時：毎週火・金曜日（14:00～14:30）
- 場 所：1 階ホスピタルストリート
- 開催回数：61 回
- 対 象：患者さん、ご家族



BGM タイムではホスピタルコンサートとは異なり、BGM感覚で聴いていただけるようにとお座席を用意せずに通りすがりに気軽に演奏を楽しんでいただきました。外来での診察時間中のため、診察や検査をお待ちの患者さんが大勢いらっしゃるためマイクの使用もできませんが、演奏が始まると 1 階のグランドピアノの周りには、自然と患者さんやご家族が集まって来られます。外来患者さんだけでなく、入院中の患者さんもパジャマ姿でお越しくださって、短い時間ではありますが音楽を身近に感じていただき、演奏ボランティアのメンバーと一緒に歌を口ずさんだり、足でリズムを取られたりと午後の穏やかなひとときとなっています。

【緩和ケア病棟ミニコンサート】

- 開催日時：毎週火・金曜日（14:45～15:15）
- 場 所：緩和ケア病棟 12 階東デイルーム
- 開催回数：59 回
- 対 象：緩和ケア病棟の患者さん、ご家族



東京湾を一望できる 12 階東の緩和ケア病棟のデイルームで、ボランティアわかばのメンバーが開催しているお茶会に合わせて、患者さんやご家族、お見舞いの方も一緒にお茶とお菓子を召し上がっていただきながら、演奏ボランティアによるミニコンサートを楽しんでいただきました。病棟看護師からの要望で季節の行事に合わせた曲を演奏したり、お誕生日を迎えられた患者さんのためにサプライズでバースデイソングを演奏したりと、ホスピタルコンサートや BGM タイムと違って身近でアットホームなコンサートとなっています。緩和ケア病棟の患者さんは、デイルームまで出歩けるほど体調が良いときもあれば、場合によってはお部屋から出ることができないこともあります。そんな時はお部屋の扉を開けて演奏に耳を傾けてくださっています。また、付き添われるご家族にとっても、ホッとすることもなっているようで、ミニコンサート終了後には演奏ボランティアとのお話も楽しんでいただいています。

演奏ボランティアのメンバー紹介

2014 年から新たに 3 名の演奏ボランティアの方をお迎えしました。これまで最も多い総勢 14 名のメンバーで BGM タイムと緩和ケア病棟でのミニコンサートの演奏をしました。



青木まやこ
(ヴォーカル)



相川梨恵
(ピアノ)



石井 修
(テノール)



石井英子
(ピアノ)



岩本久美
(メゾソプラノ)



酒寄由香里
(ヴァイオリン)



佐久間扶佐
(ピアノ)



原 由美子
(ピアノ)



尾藤万希子
(ピアノ)



長尾篤子
(ソプラノ)



長尾博子
(ピアノ)



長尾良子
(ソプラノ)



丸山ひろ子
(ピアノ)



丸山葉子
(ピアノ)

2. ボランティアわかばの活動のご報告

活動拠点となるボランティア室がアクアコート5階に移動して一年目、有明に移転後3部屋目となりましたが、職員寮や臨床検査部等のスタッフ専用エリアとなるアクアコートは一般の方や患者さんが自由に入出りできる場所ではないため、セキュリティーの問題から活動に参加していただく場合は、事前申請が必要となりました。また、活動にお越しいただいた際に登録メンバーの方に



貸出しているセキュリティーカードですが、ボランティアの皆さんによるカードの持ち帰りや紛失、カードの又貸しなど、ボランティア活動以外の目的でセキュリティーカードを使用するという残念な問題が発生したため、守衛室での入館管理が徹底されることになりました。ボランティアの皆さんからは「気軽に活動に参加できない」、「ボランティアなのに厳しいのでは…」、という等のご意見も寄せられましたが、病院として危機管理上やむを得ず、皆さんにご理解とご協力をお願いしています。

そして、新しいボランティアのメンバーは4名の方をお迎えしました。ボランティア募集は例年と同様、江東区ボランティアセンターに協力依頼をして、

『ボランティアだより』に案内を掲載していただいたほか、日本財団や東京ボランティア市民活動センターのホームページ等のボランティア募集のWebサイトなどでも広く募集をかけ、病院近くにお住まいのボランティアさんをお願いして、地元のマンションにボランティア募集のポスターを掲示していただきましたが、応募される方の数が非常に少なくなりました。東日本大震災の直後の2011年は30名を超える方の応募がありましたが、時間を経てボランティア活動への意識が低くなってきたのではないかと、というご意見がボランティアの皆さんから寄せられたほどでした。



逆に2014年度をもって活動をされた方も多くいらっしゃいました。永年活動を続けてくださった方や有明移転から丸10年、節目の年なので卒業されるという方、ご自身のお身体の不調や親御さんの介護などで活動を続けられなくなったという方もいらっしゃいました。また、お仕事で活動になかなか参加できないという方、新しいことにチャレンジされるという方、全くご連絡がなくなってしまった方など、皆さん様々な事情があたりかと思いますが、これまでわかばのメンバーとして一緒に活動していただいたことに、とても感謝しております。退会された方へこれまでの感謝の気持ちを込めまして、病院からお礼状とボランティアわかばのメンバーの証でもあります、がん研ボランティアのシンボルマークのピンバッジをお贈りしました。



登録メンバーの活動参加状況

①登録者数：60名（男性：8名、女性：52名） ※4名の新人ボランティアが登録

②登録者年代：平均年齢 60.9 歳

年代別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	1名	2名	6名	13名	24名	12名	2名
%	2%	3%	10%	22%	40%	20%	3%

③登録者住所：病院の近くにお住まいの方が多く登録（1/3の方が江東区在住）

都道府県	東京都	埼玉県	神奈川県	千葉県	茨城県
人数	49名	5名	4名	1名	1名
%	82%	8%	7%	2%	2%

（都内の内訳）

区	人数	区	人数	区	人数	区・市	人数
江東区	20名	渋谷区	2名	葛飾区	1名	豊島区	1名
世田谷区	6名	板橋区	2名	杉並区	1名	港区	1名
大田区	5名	江戸川区	2名	墨田区	1名	目黒区	1名
品川区	3名	荒川区	1名	中央区	1名	調布市	1名

④病院までの所要時間：片道 30 分以内（37%）、60 分以内（40%）

⑤当院での治療歴：治療歴あり（24名）、治療歴なし（36名）

患者さんのボランティア参加について、ボランティア運営委員会でも繰り返し検討していますが、患者さんがボランティアに参加することで、治療の患者さんに影響を与えるというマイナス面もあるという判断から患者さんのボランティア参加を受け入れしない病院もあります。ですが、がん研では患者さんにとっては病気の経験者は、患者さんにとって一番の応援団になれるのではないか、というプラス面を考えて、患者さんでもボランティアにご参加いただくことは可能となっています。

ただし、まずは治療に専念していただくことが一番となりますので、主治医の先生と相談し、募集時の個別面談でもよく話し合いをさせていただいた上で、治療が一段落した方に活動にご参加いただいております。患者さんの場合は治療後3年経過、また、がんでご家族を看取られたご遺族の場合は3回忌が終わられてから、看取ってから2年以上経過している方をお願いしています。活動にご参加いただくボランティアさんご自身の心と身体のバランスを保つためには、この位の期間が必要だという病院の方針で2014年より、活動要件に患者さんのボランティア参加規程が設けられました。

また、患者さんでボランティア活動に参加される方には、活動日と診察日の日にちをしっかりと分けてわけていただいております。診察の待ち時間に時間があるからボランティアをしたい、という方がいらっしゃいますが、それでは一緒に活動するほかのメンバーに負担がかかるという意見も出ています。ボランティアわかばは、患者の会ではありませんので、ボランティア活動中にご自身の病気や主治医の先生の話をしたり、患者さんに自分の経験談むやみに話したり、励ましたり、ということは控えるようお願いしています。思い入れが強く、これらが守れない方は、ボランティア運営委員会で活動の継続が難しいと判断させていただく場合も出てきています。

Volunteer Annual Report (2014)

⑥活動時間数：以前のように一日活動に参加される方よりも、病院の近くにお住いの方が多くなり、空いている時間を有効に使うと午前は2時間、午後は3時間と短くても集中して活動に参加して下さる方が増えています。主に活動する曜日や内容を決めていただいて、最低でも月2回以上の参加をお願いしていますが、ご都合で参加できない方も多く、日によってはメンバーがどなたもいらっしゃらない日もありました。イベント開催や天候によって参加状況も様々ですが、活動率は7割以上のメンバーの方が、定期的に活動に参加して下さっています。また、登録メンバーが主婦の方も多いため、夕方のホスピタルコンサート、お盆や年末年始の活動は参加される人数が少なくなっています。

⑦参加時間数：300時間以上（2名）・200時間以上（4名） ★最高 350時間

⑧参加日数：50日以上（3名）・40日以上（5名）、30日以上（7名） ★最高 73日

月	活動 実日数	活動 延人数	活動総時間数	平均活動 時間数	実活動者数	1日平均 活動者数	活動率(%)
4月	21	117	482:27	4:07	43	5.57	76.79
5月	18	124	562:22	4:14	53	6.20	88.33
6月	21	152	594:34	3:54	54	7.24	90.00
7月	20	140	527:23	3:46	52	6.75	86.67
8月	14	90	361:32	4:01	46	6.50	76.67
9月	20	105	405:57	3:51	43	5.25	72.88
10月	19	114	434:23	3:48	44	6.00	74.58
11月	18	13	437:52	3:52	47	6.28	79.56
12月	18	108	452:30	4:11	45	6.00	76.27
1月	13	72	278:06	3:51	38	5.54	65.52
2月	18	99	379:34	3:50	46	5.50	80.70
3月	22	115	463:44	4:02	44	5.23	74.58
計/平均	222	1,349	5380:24	3:57	46.3	6.01	78.55

※活動時間は、病院で実際に活動していただいた時間です。活動参加時に記載していただいている、活動記録のIN/OUTの時間より計算しております。

ご自宅でも活動の準備や作業をして下さっている方もいらっしゃいますので、活動状況を時間だけで計ることは難しいですが、沢山足を運んで下さっている方がいらっしゃいますので、ご紹介させていただきました。

新人ボランティア説明会・オリエンテーション



新年度がスタートした直後、4月に説明会に参加するのが難しいのではないか、というボランティアさんからのご意見を受けて、例年より約1ヵ月遅く5月8日(木)にボランティア説明会を開催しました。

ご応募いただいたのが12名と、非常に少ない人数ではありましたが、病院紹介DVDをご覧いただいた後、ボランティア室の榎山室長による病院概要の説明と、コーディネーターから活動趣旨や活動内容を説明しました。

説明会後には個別面談を行い、病院が求めていることとボランティアを希望された方が実現したいと思う内容を擦りあわせました。面談をキャンセルされた方や当院で実施していない活動への参加を希望される方もあり、ボランティア運営委員会で慎重に選考の上、4名の方にメンバーに加わっていただきました。

5月29日(木)に新人ボランティアのオリエンテーションを行い、病院ボランティアとしての心構えや約束ごと、活動参加にあたってのルールを説明しました。



ボランティア研修会



5月29日(木)の午後、新人ボランティアのオリエンテーション終了後は、先輩ボランティアや演奏ボランティアも参加して年に一度のボランティア全体の研修会を行いました。

ボランティア活動をしていただくにあたり、副院長の榮木看護部長からがん研のボランティア活動に期待することを、榎山室長からは現在の病院の状況や新棟建設についての説明させていただきました。

活動にあたって最低限身につけていただきたい内容としては、①患者さんとの接し方、②緩和ケアについて、③感染対策について、④食品衛生について、⑤個人情報保護について、という5つの内容を各部署のスタッフが直接講義しました。

研修会を実施するようになって4年、病院の状況は年々変わっていきますし、永年活動をするとマンネリ化も起こる、初心を忘れないようにしなくては…と、毎年欠かさずに研修会に出席してくださるボランティアさんもいらっしゃいます。



図書（月～金曜日：午前・午後）



がん研のボランティア活動の基本となる図書の活動では、年間 504 名の方から 5,907 冊もの本をご寄贈いただき、入院中の患者さんや外来の診察待ちの患者さん、付き添われるご家族に読んでいただきました。病棟デイルームにあるボランティア図書返却コーナーには、毎日 100 冊近い本が返却され、一冊ずつ消毒してから本棚に戻しています。図書メンバーが少なくなりましたが、活動風景をご覧になった患者さんから、ご意見箱には図書の活動に対して沢山の感謝のメッセージが寄せられています。

ソーイング（水・金曜日：午前・午後）



ボランティア室にあるミシンで年間 164 点の布製品を作成しました。尿パックカバー、ドレーンポシエット、尿瓶キャップは常にボランティア室でストックし、依頼があれば、いつでも払い出しできるように準備しています。外来診察室で使用しているタオルケットのほつれ直しや看護師や看護助手から依頼の特注品の対応は 82 点、ミシンができるメンバーも限られておりますが、できる限り提供しました。また、がん研公式キャラクター選考の際もぬいぐるみづくりでご協力いただきました。

折り紙を楽しむ会（毎週木曜日：午後）



患者さんやご家族の参加型の活動で人気となっている『折り紙を楽しむ会』は、年間 44 回開催し、264 名もの患者さんやご家族にご参加いただきました。週替わりで折り紙作品を用意して、見栄えのする素敵な作品を毎回参加される方を一緒に作っています。この活動が目にとまり『頼れるドクター』という雑誌のボランティア活動のコーナーで紹介されました。



～『頼れるドクター』に掲載された折り紙の活動～



外来案内 (月～金曜日：午前・午後)



2011年よりスタートした外来案内の活動は、来院する患者さんを一番にお迎えする“病院の顔”と言える活動です。看護師や総合案内、医事課で窓口業務を委託しているクリエイトのスタッフと一緒に活動しますが、様々な状況の患者さんやご家族、面会の方からの問い合わせにきめ細やかな対応が求められます。呼出受信器のPHSの消毒作業などもあり、緊張感もあるこの活動は、2時間があっという間に過ぎていきます。

お茶会 (火・金曜日：午後)



緩和ケア病棟のお茶会は、演奏ボランティアによるミニコンサートと合わせて開催しています。メンバーの急な欠席で活動中止になることもありましたが、楽しみにお待ちいただいている患者さんのために、定期的に安定したお茶会ができるように、1月以降は火曜と金曜の隔週1回の開催となりました。深刻な状態の患者さんもいらっしゃるため、病棟のスタッフから注意を受けることもあります。対応には十分な配慮を心がけて活動しています。



(お茶会開催記録)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
月間開催数	8	7	8	8	5	7	2	5	3	2	4	4	63
曜日	火	4	3	4	5	2	3	0	2	1	2	2	29
	金	4	4	4	3	3	4	2	3	2	1	2	34
わかば参加人数	19	15	21	16	15	13	5	11	8	4	9	11	147
ミニコンサート開催数	4	4	7	4	5	7	2	4	3	2	4	4	50
患者さん人数	100	84	67	75	47	50	13	45	34	12	38	37	602
ご家族・面会者人数	109	99	95	94	71	110	21	53	64	27	38	50	831

室内作業（月～金曜日：午前・午後）

活動拠点となるボランティア室では、寄贈本の受付、仕分けやカバーかけ、ソーイングの布製品の払出や入院患者さんへのCD文庫の貸出、尿瓶キャップづくり、来訪者や問い合わせの電話対応の活動も行っています。また、活動で着用するエプロンのアイロンかけやメンバーが気持ちよく活動できるように、ボランティア室の掃除や整理整頓、休憩時に使用するポットの洗浄やカップの茶渋取り、倉庫整理やロッカーの拭き上げなど、通常の活動が滞りなく実施できるようにと陰ながら活動を支えてくださる方もいらっしゃいます。パソコンが得意な方に活動記録の集計をお願いしたり、寄贈者への御礼状発送にご協力いただいたり、事務的な作業もお願いしています。

直接、患者さんに接する活動に目が向きがちですが、“目に見えないところでも一つ一つの活動がすべて患者さんに繋がっている”という意識で積極的に活動してくださるボランティアさんの存在はとても有難いです。



■CD文庫の貸出

横浜録音図書株式会社様に2011年に寄贈していただいた『聴いて楽しむCD文庫』は、10名の患者さんに年間34件、貸出しました。入院患者さんもタブレットなどを持ち込まれる方も多く、年々ニーズが少なくなっているようで、11月以降の貸出は0件でした。機械の故障もあったため、2015年3月末で貸出を終了しました。



■尿瓶キャップ作成

年間で1,377個を病棟へ払い出ししました。毎年1,000個以上の出数ですが、ソーイングで余った端切れの生地と、BOXティッシュやお菓子の空箱を再利用して、捨てるものでも有効活動しています。衛生上の問題から使い捨てで頻繁に変えているため、病棟に払い出す数も多く、ご自宅で作ってくださる方もいらっしゃいました。



■ペットボトルキャップの回収

施設課が「世界の子どもたちにワクチンを提供する活動」に協力していることから、ボランティア室でも回収BOXを置いて協力しました。今年も年間で8.5kgのキャップを集めました。キャップ1kg=400個、800個で一人分のワクチンが購入可能です。400個が焼却されると3.15kgの二酸化炭素が発生し、エコにもつながりました！



■古切手の回収

職員やボランティアのメンバーから古切手を有効活用できないか、という提案で、小児がんなどの難病のお子さんの夢を叶えるお手伝いをしている財団法人『メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン』に昨年に続いて古切手を寄贈しました。財団の東京本部から御礼状も届きました。

コンサートサポート



著名なアーティストの方にお越しいただくホスピタルコンサートには、沢山の患者さんやご家族がご覧になるため、職員と一緒に安全第一で会場の準備や患者さんの誘導を行いました。演奏を聴きながらもご覧になる患者さんへの配慮を忘れず、楽しいコンサートとなるように、サポートしました。

BGMタイムや緩和ケア病棟ミニコンサートでは、同時開催のお茶会担当のメンバーがサポートしました。

イベント

今年も治療中の患者さんやご家族に季節の風を感じていただけるよう、様々なイベントを企画し、運営しました。通常の活動に差し障りがないようにイベントには通常の活動にプラス α での参加をお願いしています。通常の活動は曜日や活動内容によって分かれての活動となりますが、イベント開催時は曜日や活動内容の隔たりはなく、メンバーが一丸となって楽しみながら実施しました。



■端午の節句（4/21～5/7）

1階ホスピタルストリートと2階外来外待ち合い、12階緩和ケア病棟デイルームの3カ所に五月人形を飾り付けました。すべて寄贈していただいたもので年代物ですので、壊さないように慎重に飾り付けを行いました。沢山の患者さんにご覧いただき、鯉のぼりがあればいいのにな！というご意見もいただきました。



■七夕笹の設置（6/27～7/8）

帝都典禮株式会社様のご協力でホスピタルストリートに大きな笹と12階緩和ケア病棟デイルームにもミニサイズの笹を設置しました。ボランティア室兼務になった新入職員とわかばのメンバーの共同作業で3,000枚近い短冊を作成し、短冊に願いごとを書いていたいただきました。



■七夕短冊奉納、お焚き上げ（7/24）

笹に結びつけられた短冊は2,185枚もの数となりました。沢山の願いが込められた短冊は一枚一枚、笹から大切に外して、皆さんの願いが叶うように、江東区の門前仲町にある富岡八幡宮にお焚き上げを依頼しました。





■クリスマスカードづくり (9月~12月)

毎年折り紙のメンバーのアイディアで、素敵なクリスマスカードを作成しています。担当の先生や看護師がこのクリスマスカードにメッセージを書いてお渡ししますが、患者さんが喜んでくださったというお声が届くと、800枚のカードを一枚一枚手作りで作った甲斐があった、と達成感があります。



■クリスマスツリー展示 (12/1~12/26)

街中がクリスマスムードで賑やかになる12月ですが、クリスマスを病院で過ごされる患者さんやご家族のために、平安祭典様のご協力で1階ホスピタルストリートの中央に大きな生のモミの木のクリスマスツリーを飾り付けしていただきました。入院病棟へあがるエレベーターホールにも素敵なアレンジのお花を飾ってください、とても華やかな雰囲気になりました。



■ボランティアチャリティーSHOP (12/10)

今回で5回目の開催となったSHOPは、新しいメンバーも加わり、実行委員3名のメンバーが中心となって実施しました。今回初めて作成したがん研ロゴ入りグッズが大好評で、沢山の方にお買い物を楽しんでいただきました。売上金は新棟建設のために募金課へ寄付しました。

*売上：**400,000円** *来客数：352名(過去最高)
*販売数：1,320点(過去最高) *出品数：1,700点(過去最高)



■サンタクロース訪問イベント (12/24)

入院患者さんのもとへ病院長の門田先生からのクリスマスカードとささやかなプレゼントを届けにサンタクロースが訪問しました。各病棟の看護師と一緒に、患者さんの体調やその時の状況に応じて配慮を忘れずに、『メリークリスマス！有明のサンタです』と病室を訪問すると、サプライズでのサンタクロースの登場に患者さんもお家族も大喜び、みんなが笑顔に包まれるイベントとなりました。



■桃の節句 (2/20~3/4)

ひな人形七段飾りを1階ホスピタルストリートに、12階緩和ケア病棟デイルームには親王飾りを展示しました。

毎年、このひな人形を楽しみにしてくださっている患者さんも多く、飾り付けをしていると、『今年もおひなさまも見るのが嬉しい！』とお声をかけてくださる患者さんやご家族がいらっしゃいました。

3. 外部ボランティア受け入れのご報告

大変有難いことに企業や団体の方より、がん研でのボランティア活動に参加したい、というご要望を多数いただきました。社会貢献活動の一環としてボランティア活動を社員に実施させる企業や、ボランティア体験をしたいという学校や団体からのお申し出も増えております。がん専門病院での活動であるため、お申し出をいただく企業や団体のご希望と、患者さんのニーズや病院側の受け入れ体制がうまく合った場合のみ、活動へのご協力をお願いしております。

スヴェンソン様カットボランティア

[7月15日、1月20日開催]

がん研が大塚にあった頃からご協力いただいているスヴェンソン池袋サロンの美容師の皆さんが、今年度も2回、訪問してくださいました。午前中はボランティアわかばのメンバーと一緒に図書活動に参加していただき、午後からは各病棟の看護師の協力のもと、入院患者さんの髪をカット&シャンプー、セットを無償でしていただきました。

(カットボランティア利用者数) 7月=23名、1月=16名



4. 交流会・懇親会のご報告

日頃の活動では曜日やグループ活動にわかれているため、なかなかボランティアのメンバーが全員で顔を合わせるチャンスが少ないため、ボランティア同志の横の繋がりや病院職員と親睦を深める場を設けようと、交流会や親睦会を企画しました。幹部スタッフも参加して、日頃のボランティア活動に対して感謝の気持ちをお伝えしました。



■新人ボランティア交流会 (5/29)

新人ボランティアのオリエンテーション、研修会終了後に開催した交流会には、メディカルディレクターの武藤先生と太田常務理事、榮木看護部長も出席しました。新人メンバーを温かくお迎えしようと先輩ボランティアも参加して、自己紹介や活動への抱負、がん研のボランティアのモットーである“活動は細くても永く続ける”秘訣をお話して、お茶とお菓子で和やかな会となりました。



■暑気払い（7/24）

七夕短冊の奉納後、前の年にもお邪魔した深川めしで有名な「門前茶屋」で暑気払いを行いました。ボランティア支援室の榎山室長や兼務となった新入職員も参加して、会席コースの美味しいお食事とお酒をいただきました。ほろ酔い気分になった頃、夏らしく雷と大雨となりましたが、楽しく家路につきました。



■クリスマス会&納会（12/24）

サンタクロースの病室訪問終了後、ボランティア室でクリスマス会を行いました。クリスマスイヴにも関わらず、活動に参加してくださいました皆さんへ、病院からささやかなクリスマスプレゼントをお渡ししました。



5. 活動費、募金・寄付のご報告

①ボランティア活動費（年間：700,000円）

コンサート、ボランティアわかば、外部団体の受け入れを限られた予算で運営し、活動別で下記の支出となりました。皆様のご協力で購入不要なものもあります。現在、『Wish List』の品物を募集しています。ご提供いただける品物がありましたら、ぜひお持ちください！！

ボランティア支援室 平成26年度活動費報告					
（単位：円）					
区分	活動別	予算	支出	差額	備考
コンサート	ホスピタルコンサート BGM・ミニコンサート	100,000	94,344	5,656	演奏者CD、写真用紙、POP材料、お茶菓子等
外部団体受け入れ	カットボランティア	10,000	7,897	2,103	お茶菓子等
わかば	図書	20,000	24,564	-4,564	欠巻本、テプラテープ等（※1・2）
	ソーイング	60,000	51,014	8,986	生地、糸、マジックテープ等
	折り紙会	15,000	5,805	9,195	折り紙材料
	七夕	10,000	7,694	2,306	七夕短冊材料、お焚き上げ初穂料
	Xmasカードづくり	30,000	24,340	5,660	Xmasカード材料
	ボランティアSHOP	50,000	55,541	-5,541	SHOP材料
	サンタ訪問イベント	20,000	27,446	-7,446	病院長クリスマスカード、ラッピング袋（※3）
外来医事課サポート	外来案内	5,000	0	5,000	掃除用具（※2）
緩和治療棟サポート	お茶会	80,000	77,847	2,153	コーヒー・紅茶・お茶・コンディメント、個包装のお菓子代（※2）
ボランティア活動全般	会議費	100,000	102,091	-2,091	ボランティア交流会・懇親会
	雑費	200,000	206,667	-6,667	ハガキ代・インク代・洗剤等の消耗品（※2）
合計		¥700,000	¥685,250	14,750	返金

※1: 図書用フィルムカバーは、高額のため(1本あたり小サイズ=8,000円、大サイズ=1万円)、ボランティアSHOPの売上金(病院への寄付金)より支出。

※2: 図書や外来案内、お茶会等で使用している消毒用のエタノール、ガーゼ、エタコト、検査用手袋の他、ボランティア室で使用している、

ペーパータオルやティッシュ、手指用消毒アルコールは、購買施設課からの支給のため、上記支出には含まない。

※3: サンタ訪問イベントの患者さんへのプレゼント費用は、ボランティアSHOPの売上金(病院への寄付金)より支出。

～Wish List～

【ソーイング】	*木綿の生地	*キルティング	*刺繍糸
【文具類】	*書き損じはがき	*サインペン	*厚紙 (BOX ティッシュの空き箱)
【日用品】	*食器用洗剤	*紙袋	*ポケットティッシュ
【食品】	*コーヒー	*紅茶	*お茶

②ブックオフへの図書買取り金額 (冊数：1,775冊、金額：90,844円)

多数の寄贈本をいただき、本棚やキャパシティーをオーバーしたため、ボランティア運営委員会での了解を得て寄贈いただいた本をブックオフへ買取りを依頼しています。買取り金は全額「ボランティアわかば募金」に募金し、金額がまとまった時点でがん研へ寄付していますが、ボランティア活動で有効に使えるようにして、図書カバーかけで使用しているフィルムルックスを購入に充てています。

<参考>フィルムルックス (大サイズ：約¥10,000、小サイズ約¥8,000)

2014年購入分 (大サイズ：5本、小サイズ：10本)

③ボランティアわかば募金 (募金額：92,318円)

2014年3月末時点でボランティア室でお預かりしている募金額です。ブックオフ買取金やボランティアチャリティーSHOP終了後に在庫をボランティア室で継続して販売した売上金、その他、ボランティアさんからの募金の総額です。10万円を超えたら、寄付金として募金課に寄付し、ボランティア活動でも有効に使わせていただきます。

④寄付金 (金額：507,310円)

ボランティアチャリティーSHOPでの売上や図書の買取り、ボランティアわかば募金より、今年度は新棟建設のための寄付金として、募金課へ50万円寄付することができました。また、募金課で新たに作成した「がん研究医療推進募金箱」をボランティアチャリティーSHOPの会場に設置し、終了後は、ボランティア室にも募金箱を設置して、皆さんからのご協力をいただきました。ボランティア活動以外にも、財政面でもがん研を支えていただき、本当にありがとうございました。

がん研有明病院「ボランティアわかば」寄付金報告					
No	年	月日	金額	寄附先	備考
1	2009	7月6日	¥100,000	新有明特別募金	ボランティア室わかば募金より
2	2009	12月21日	¥134,500	手術室募金	ボランティアバザー(職員&ボランティア対象)
3	2010	10月16日	¥100,000	がん研究医療推進募金	ボランティア室わかば募金より(わかば活動開始5周年記念)
4	2010	12月16日	¥320,700	がん研究医療推進募金	ボランティアチャリティーSHOP(初の手作りSHOP)
5	2011	10月18日	¥100,000	高度医療基金整備募金	ボランティア室わかば募金より(ブックオフ買取り他)
6	2011	12月22日	¥500,000	がん研究医療推進募金	ボランティアSHOP(※チャリティーという表現は今年より使用NG)
7	2012	12月14日	¥500,000	ボランティア寄付金	ボランティアSHOP、ボランティア室わかば募金より(ブックオフ買取り他)
8	2013	8月8日	¥100,000	ボランティア寄付金	ボランティア室わかば募金より(ブックオフ買取り他)
9	2013	12月20日	¥500,000	ボランティア寄付金	ボランティアSHOP、ボランティア室わかば募金より(ブックオフ買取り他)
10	2013	12月20日	¥10,695	がん研究医療推進募金	ボランティアSHOP募金箱
11	2014	12月15日	¥500,000	新棟事業募金	ボランティアチャリティーSHOP、ボランティア室わかば募金より
12	2014	12月15日	¥7,310	がん研究医療推進募金	ボランティアチャリティーSHOP募金箱
合計			¥2,873,205		

6. ボランティア活動に寄せられたご意見

ボランティア活動に対して沢山の感謝のメッセージが寄せられました。活動に対しての期待のご意見も届いています。活動がボランティアのひとりよがりのものにならないように、患者さん、ご家族の声に耳を傾け、できるだけニーズに合った活動になるようにしていきたいと思います。

ホスピタルコンサートを聴かせていただき、ありがとうございました。無料で開催、皆様に感謝いたします。楽しく素晴らしい時間にすべてを忘れ、思わず一緒に声を出してしまうほどでした。とても幸せな心になり、おかげさまでゆっくり眠ることができました。一歩ずつ、明るく前向きに、病と共に歩いて参ります。本当にありがとうございました。

コンサートを聴きました。生の演奏を聴くのはとても素敵なことだと思いますが、もう少し選曲を考えて頂けたら…と思いました。悲しい感じの曲が多く、出来ればがんの患者さんが聴くのですから、明るく、心が温かくなるような癒される曲を多く取り入れて頂けると良かったです。

クラシックなコンサートも気持ちが落ち着くので良いと思いますが、落語や漫才などで、思い切り笑えたらと思います。笑うことはストレス発散にもなり、病気も飛んでいきそうです。先生や看護師さんも参加してのカラオケや合唱なども、聞いてみたいですね。患者の身体に負担にならないイベントもやっていただけたら嬉しいです。

BGMタイムを聴き、いつも思うことは患者の私にとってはずっと立ちっぱなしでは身体がきつく、椅子が欲しいです。お見舞いの方のためのコンサートなのでしょうか？対象をどちらに置いたコンサートなのか…、椅子を工夫することで通行の邪魔にならないように置くことができると思います。

以前より乳腺科でお世話になっています。先日ホームページで“わかば”さんの活動を知りました。家にあった木綿、レース、糸など、患者さんに、またはボランティアSHOPでの小物の販売、イベントの飾り付けなど、もし役立てていただければと思い、お送りします。ボランティアの皆様もどうぞご自愛ください。

図書ボランティアの皆さま、いつもありがとうございます。
図書の貸出、とても有難いです。病院内で清潔にくださった本が本当に私をなぐさめてくださいました。こちらの本をボランティア図書でお使いください。ボランティア図書で助けていただいた感謝を込めて…。
(沢山の本を寄贈していただきました)

図書ボランティアの方々の活動、本当に感謝しております。
入院中も通院時も、皆さまのおかげで楽しむことができました。1巻がずっと抜けたままになっていた本、寄付させていただきます。
これからも沢山の患者さんのためにご活躍ください。

家族の者がお世話になり、受診して感じたことです。
スタッフやボランティアの方のキビキビとした活動の姿と微笑みが、患者や家族に安心感を与えてくださいました。本当にありがとうございました。



**一年間、ご協力いただき、本当にありがとうございました。
2015年は活動10周年の節目の一年です。
一人でも多くのがんと闘う患者さんのために、
今後も皆さんのお力を貸してください。**